

## 秋篠宮殿下のおことば

本日、第 52 回交通安全国民運動中央大会が開催され、日ごろから全国各地で交通安全運動に力を尽くしておられる皆様とともに出席できますことを誠に嬉しく思います。

私たちは日々の生活において、自動車や自転車などの車両を頻繁に使用もしくは利用いたします。そして道にはそれらの車両と人とが混在して往来をしております。そのような状況にあって、道路上での交通事故は、飲酒運転や運転中の携帯電話の使用などの法規の無視、ペダルの誤操作をはじめ、さまざまな要因で起こり得ます。これらの事故に対処するためには、国民の一人ひとりが交通道德を高めるとともに、規則を守り、交通事故を防止しようとする自覚をもち、それを実践していく必要があります。

このような中、「交通安全思想普及の国民運動」を展開することを目的として、全日本交通安全協会が設立され、今日まで 50 年以上にわたって所期の目的を達成するため、本大会をはじめ研修会の開催や教育資料の配付など、さまざまな事業を展開してこられたと伺っております。統計による交通事故の死者数は、ここ 3 年 5000 人以下となり、また 11 年連続で減少しております。このことは、皆様の長年にわたるたゆみない努力の結果であると思います。いっぽう、交通事故の発生は未だにあとを絶ちません。そして、かけがえのない多くの命が失われております。交通事故のない安全で快適な交通社会の実現は、私たちの願いであります。

その意味からも、毎年開催されるこの大会は、関係者が一堂に会して諸問題を話し合う意義深い機会であると思います。これを一つの契機として、私たち一人ひとりが交通安全を自らの問題として考えるとともに、国民総ぐるみの交通安全運動が一層推進されていくことを祈念いたしております。

最後に、このたび日頃の交通安全運動にたいして表彰を受けられる方々に心からお祝いを申し上げますとともに、長年にわたるご尽力に深く敬意を表して私の挨拶と致します。